

# 安足地区の学力向上に向けた今後の取組

## ～調査問題と調査結果の効果的な活用に向けて～

学力調査（全国学力・学習状況調査及びとちぎっ子学習状況調査）は、児童生徒の学習状況を把握し、授業の改善・充実に役立てるために行われています。

今回は、国語の学力調査の結果分析及び「書くこと」を中心とした具体策の紹介をいたします。

### 【1】栃木県の調査結果から【とちぎっ子 国語】

	小4	小5	中2	
全体	65.2	62.9	61.4	
観点	知識・技能	74.0	71.3	70.1
	思考・判断・表現	59.1	57.2	55.9
	領域			
解答形式	選択式	65.2	61.6	69.2
	短答式	72.3	68.6	63.3
	書くこと	59.3	47.2	62.9
	読むこと	55.2	49.8	49.9

#### \*\*結果から見える課題\*\*

- ・観点別では **思考・判断・表現**
- ・領域別では「**書くこと**」「**読むこと**」
- ・解答形式別では **記述式**

これらの正答率が低くなっています。  
今回は、これらの課題をすべて含む『大問6（小学校5年）』を例に指導の具体策を考えます。

### 【2】結果分析及び具体策 大問6（領域：書くこと 観点：思考・判断・表現 問題形式：記述式）から

※

6-3

6-4

は裏面に続きます

① 七行から、九行の間で書くこと。

② 二つの段落に分けて書くこと。

③ 一つ目の段落には、アンケート調査の結果から読み取ったことを書くこと。

④ 二つ目の段落には、一つ目の段落に書いたことをもとに、みんながもつとエコ活動に取り組んでいくにはどうすればよいか、あなたの考えを書くこと。

《注意する点》

あなたの考えを、次の《注意する点》を守って書きましょう。

アンケート調査の結果をもとに、みんながもつと「エコ活動」に取り組んでいくには、どうすればよいでしょうか。

エコ活動についてのアンケート調査の結果

■しつ問1 あなたはエコ活動をしていますか。

- ・いつもしている……………10人
- ・たまにしている……………11人
- ・していない……………14人

■しつ問2（「いつもしている」「たまにしている」と答えた人に、）  
どんなエコ活動をしていますか。  
（ひとりていくつ答えてもよい。）

- ・使っていない電気をこまめに消す。……………11人
- ・ごみをするとき、しっかり分別する。……………10人
- ・水とうを持ち歩く。……………7人

■しつ問3（「していない」と答えた人に、）  
エコ活動をしないのはなぜですか。

- ・めんどうだから。……………6人
- ・何をすればよいか分らないから。……………5人
- ・どれくらいかんきょうによいか分らないから。……………3人

6  
五年二組では、クラス全員（三十五人）を対象にして行ったアンケート調査の結果をもとに話し合いをしています。次は、そのときに行った「エコ活動」についてのアンケート調査の結果です。

問題番号	問題の概要	正答率	無解答率
6-1	「エコ活動」についてのアンケート結果を読み、7行から9行の間で文章を書く。	52.6	21.5
6-2	「エコ活動」についてのアンケート結果を読み、2段落構成で文章を書く。	45.9	21.6

- ・約半数の児童が正答
- ・約2割の児童は無解答
- 残りの約3割の児童は行数が少ない、または多いため誤答
- ・半数弱の児童が正答
- ・約2割の児童は無解答
- 残りの約3割の児童は2段落構成で書くことができずに誤答

### 具体策①「条件を設定して書く」活動を取り入れる

- ◎条件設定の例：「○行以上（○～□行の間で）」「△段落に分けて」「◇◇という言葉を使って」
- ・書きやすい題材、文章量から始め、徐々に条件を増やしていく。
  - ・書くことが苦手な児童生徒に対しては、手本となる文章を「写す」、「まねる」ことから開始し、段階的に自力で書く場面を増やす。

問題番号	問題の概要	正答率	無解答率
6-3	「エコ活動」についてのアンケート結果から読み取ったことを、1つ目の段落に書く。	52.6	21.6

- ・約半数の児童が正答
- ・約2割の児童は無解答
- 残りの約3割の児童はアンケート結果から読み取ったことが書けずに誤答

## 具体策②「資料や文章を読み取る」活動を取り入れる

- ◎資料や文章の中から、必要な情報を見つける活動を取り入れる。
  - ・必要な情報と判断した語や文に線を引いたり、四角で囲んだりして抜き出してみる。
- ◎複数の資料や文章の中から、共通点、相違点などを見つける活動を取り入れる。

問題番号	問題の概要	正答率	無解答率
6-4	みんながもっと「エコ活動」に取り組むためにどうすればよいかについての考えを2つ目の段落に書く。	37.6	21.6

- ・約4割の児童が正答
- ・残りの約2割の児童は無解答
- 残りの約4割の児童はどうすればよいか自分の考えが書けずに誤答

## 具体策③「自分の考えを書く」活動を取り入れる

- ◎図や表などを用いて、自分の考えを整理する活動を取り入れる。
- ◎「なぜそう考えたのか。」など、考えの根拠(理由)を意図的に問うようにする。
- ◎自分の考えとその理由を明確にして、書き表す活動を取り入れる。



### 【3】「書くこと」の指導における教科横断的な視点

- \* 国語科以外の授業や諸活動でも、意図的に書く活動を取り入れていく。
  - 《例》
    - ・資料やグラフを読み取り、自分の意見をまとめる。【社会・理科・算数/数学】
    - ・鑑賞や表現の機会に、自分の思いや考えを書く。【音楽・図画工作/美術】
    - ・相手や目的を明確にして、礼状や招待状を書く。【総合的な学習の時間・特別活動】
    - ・短い日記・作文やスピーチ原稿を書く。【朝の学習・帰りの会、家庭学習】

- \* 調査結果資料・参考資料を活用して・・・  
学校や学級、児童生徒の実態を踏まえてご指導ください。
  - ・問題別調査結果
  - ・問題別〔解答類型〕調査結果
  - ・S-P表（\*H31 学力向上通信第5号に活用方法を記載）
  - ・児童生徒の解答用紙
  - ・パワーアップシート

参考資料の  
二次元コードは  
こちらまる！



学力向上アーカイブ

栃木県教育委員会事務局 安足教育事務所  
〒327-8503 栃木県佐野市堀米町607  
TEL 0283-23-1471  
URL <https://www.pref.tochigi.lg.jp/m57>  
〈発行：令和5（2023）年9月〉

\*本資料は、安足教育事務所  
Web サイトからご覧いただく  
ことができます。

